



かえでゆうびん 5月号

2019年度 5月1日

社会福祉法人 清松学園

幼保連携認定こども園 かえで保育園

園長 引地美津代

「令和」となりこれからの未来が穏やかで、皆が平和に暮らせ世界中の争い事がなくなる世の中であってほしいと願います。

かえで保育園の子どもたちの生活もそれぞれの先生やお友達とのやり取りもうまく進むようになってきました。皆自分が一つ大きくなった自覚ができ、なぜだか新だいちくみが堂々と事務所に入り、話をしに来てくれたり、小さい子のお世話を率先してしてくれたり・・・いつの間に引き継いでいたのか当番のやり方も声のかけ方も先輩からしっかり受け継いで進めてくれています。また、新たな子どもたちのストーリーが始まりそうで私もわくわくして待っています。

子どもの思いは突然わきます。その思いに共感したり、ともに喜んであげるともっとイメージが膨らんでいきます。その思いを職員全体で共有してできるだけ叶えられるよう保育の計画を進めていきます。だいちの第一回目の案は「姫路城に行く」というお願いでした。昔の人の着物・忍者から、ちょんまげ・・・お城を積木でつくってみて「ドアはどうなっているのか?」の疑問が出たようです。少し遠出になりますがチャレンジしてみたいと思います。

さて、新入園児さんの慣らし保育では保護者の方々に長い時間ご協力いただきありがとうございました。ようやくお子様も少しだけ安心して過ごせるようになってきました。まだまだ、リズムがかみ合わず、ひとりが泣かれると伝染して皆が長大泣きになってしまいますが先生に抱っこされるとじっと顔を確認した後、落ち着いてくれるようになりました。

かえでの「慣らし保育は長い!!」と思われたかもしれませんが、子どもの安心を優先し無理なく一人で過ごす・先生が安心できる人になることを重点におき協力いただきました。まず子どもの体感で、職員とお母さんの会話だったりその雰囲気だったり「ここは大丈夫なところ」「お母さん・お父さんではないけど先生に抱っこされるのも気持ちいい」「優しい声やあったかい雰囲気」とお子様が感じ、安心しすることを優先して計画しています。先生がいるともう大丈夫!の入り口までは入れました。これからの生活でもっと深まっていくことを楽しみにしています。

5月7日より育児休暇を終え、原田千尋・木下明友美の2名が復帰してきます。どちらもお子様が保育園に無事入園でき、初めて子どもを預ける不安さも味わいながら保護者の方々にもまた、今までと違ったお話ができると思います。6時間の短縮勤務になりますので保護者の方々とお会いする時間は限られますが、両立支援しながらうまく子育ても進めてもらえたらと思います。どうぞよろしくお願いします。

今年度もかえでカフェ・ダンディタイムの活動が始まります。

かえでカフェでは 5月25日(土) 13:30~15:00で前回の『童神』の踊りがとても素敵で先生踊る姿と音楽で胸が熱くなりました。一番のみ歌詞を紹介します

♪天からの恵み、受けてこの地球に(ほし) 埋めれたるわが子 祈りを込めて育て
イラヨーハイ・イラヨーホイ イラヨー愛し(かなし) 思産子(うみなしぐわ)
泣くなよーや ハイヨー ハイヨー
太陽(ていだ)の光受けて
ゆーいりよーや ハイヨーハイヨー 健やかに育て～ ♪

踊りながらお子様をいとおしく母としてもうれしくなり、うっとりどける時間でした。
是非ご参加いただき皆で、潤いましょう・・・

ダンディ・タイム

今年はこんなことを考えています

- ・園庭にいつでもお絵かきができる大きなキャンバスの作成
- ・コンポストを養成する木枠
- ・ホップを育てる(グリーンカーテン) 連休明けにアンケート調査しますので皆様ご意見をください

にこにこメッセージ

4月からの新年度、一番小さなお子様は生後7か月で、かえで保育園での生活が始まりました。お子さまに合わせた慣らし保育を進める中で、子どもとのつながりや信頼関係が生まれます。保育者とおもちゃであそんだり、歌を歌ってもらうより、今は抱っこも座ってではなく、立って抱っこしてほしいと言葉はなくても、表現してくれます。

ミルクや食事もあるのがよかったり、少し温かいのがよかったりと、心地よく過ごしてもらえるまでに保育者も色々模索中です。園内では、在園の子どもたちも慣らし保育に協力してくれます。名前を覚え読んでくれたり、おもちゃを貸してくれたり、歌もうたってくれます。そんな時には泣いている子も一瞬泣き止み笑ってくれることもあります。

保護者の方にたくさんの愛情を注いでもらっているお子さまが、保護者の方と離れることで、今は泣いたり、不安に思っている時間が多くあっても、かえでの大きなおうち、お友達と時間を共に過ごせることが心地よくなってきます。そんなことを感じていただけるよう、保護者の方にもお話や環境づくりなどで、ていねいにお知らせしていきたいと計画しています。そして安心して保護者の方がお仕事に向うことができよう園作りをしていきます。

今年も新たな出会いがあったことに感謝し、忙しい日々ですが毎日楽しく過ごしています。

☆先日、1年生になった卒園児が「保育園に来たらほっとするわ」とつぶやいていました。

うれしい一言でした。(小学校に行っても応援してるよ。)

主幹教諭 藤森 寿美

ピオトープで遊んでいたふたばぐみのAちゃん。「おたまじゃくしがいるんだよ」と幼児さんに声を掛けてもらいますが、「？」とあまり分からない様子。幼児さんがおたまじゃくしをカップにすくって置いていると、はっと表情が変わり、おたまじゃくしの存在に気付きました。

「これ、なに？」とカップに目が付きそうなほど近くで見つめます。黒くて、小さくて、ちょろちょろと動いている・・・！思わずふふっと微笑むAちゃん。カップを左右に動かしては尻尾の動きに目が奪われ、待って！と掴もうとしています。目で見て、特徴に気づき、触ってみる、新しい出会いでした。その出会いの瞬間に立ち会えたことを嬉しく思い、そんな出会いをもっと増やしてあげられたらと思います。

乳児リーダー 谷角 早紀

暖かい気候の4月5月にお散歩を楽しめればと思い、幼児クラス子どもたちと何度か東三公園へ出かけました。1回目は縄跳びやボールも持っていきましたが、何よりも広い場所を友だちや先生と駆け回るのが楽しいようでした。2回目、今度は植物のある広場です。始めは桜や虫を見つけてみんな嬉しそうに教えてくれていたのですが、10分も経つと、あそびを深めていく子、ひたすら図鑑を見ている子、

そしてベンチで休憩している子がいました。保育者も一緒に自然の中の楽しさを探しながら、木の根の上を落ちないように…とそっと歩いてみたり、木の蜜を見つけて皆で匂いをかいでみたり…。手を伸ばせばすぐに便利なものが近くにある今の時代、ルールやお手本も何もない環境の中でどれだけ

楽しさを見いだせるのか、大人も試されているようでした。遊具や道具を使わない自然あそび、ぜひお子さんと楽しんでみてください。

副主幹教諭 河本 彩奈

【 今月の先生コーナー 】

私は幼いころからいちごが大好きで、毎年この時期になるといちごをたくさん食べています。

いつも行きたいと思っているいちご狩りはタイミングを逃してしまいなかなか行けず…。

そんなとき、いちごのお菓子やいちごのスイーツを探しにカフェ巡りを楽しんでいます。美味しいいちごの見分け方はツヤがある・つぶつぶの間隔が離れている・ヘタが反り返っている・先端が平らで大きいもの・産毛があるかをチェックして選んでいます。いちごの不思議見つけてみてくださいね。

私も保育者になり2年目になりました。毎日、子ども達と関わる中で不思議に思ったことや、やってみようと思ったことを子どもたちと一緒に考えて保育を進めていけたらと思います。また、いちごの話だけでなく様々なことを子どもたちに伝えていきたいです。

山本 あかね

5月7日より育児休暇から復帰する、原田千尋です。

今、1歳7ヶ月になる娘がいます。何もかも小さくて何も出来ずに泣いていたのに、最近では意思表示が出てきて、汗をかいて涙を流しながら“こうしたい”に向かっている娘です。

子を持つ親として、保護者の方々とも、子育ての悩みを共有したりお子様の成長と一緒に喜んだり、たくさんお話が出来たらいいなと思っています。そして、子どもたちの毎日の生活の中で、“できた”という喜びをたくさん感じられるよう、一緒に悩んで寄り添いながら関わっていきたいと思います。

かえで保育園で、子どもたちと一緒に過ごす毎日が今から楽しみです。1年間よろしくお願いします。

原田 千尋

5月より育児休暇から復帰します木下明友美です。昨年は、はじめての出産や育児と毎日新しいことの連続でとても貴重な経験になりました。我が子を育てるという不安やその責任の大きさに悩むこともありましたが、子どもの成長一つひとつが嬉しく、私にとって忘れられない時間になりました。実際に育児をしてみて学んだことや気づいたこと、親としての目線を、今後の保育士生活にも活かしていきたいと思っています。そして、子どもたちにとってかけがえのない日々と一緒に楽しみ、共感し、かえででの思い出を増やしていきたいと思っています。

至らないことも多々あるかと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

木下明友美



～めばえぐみ～

ねらい：「安心して過ごす・色々な物に触れてみる」

う た：「ことりのうた・ジージーバー・ももやももや」

保育園生活がスタートして1カ月が過ぎました。初めは泣いていたお友達も徐々に保護者の方とバイバイが出来るようになり笑顔も垣間見ることが出来るようになってきました。これから少しずつ「たのしい」と思える日が増えるよう信頼関係を築いていき、毎日を大切に過ごしていきたいと思います。

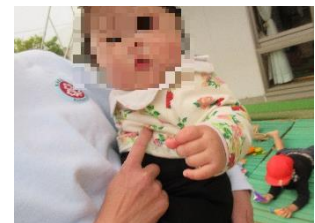
～お外気持ちいね～

4月に入り、とても気持ちのよい気候が続きました。めばえのお友達も帽子を被って園庭に遊びに出かけています。初めての園庭に辺りをきょろきょろと見渡す子、びっくりして思わず泣いてしまう子、さっそくハイハイして歩いてみる子…と様々な子どもたちの姿がありました。マットに座っていると周りに幼児のお友達がやって来て話しかけてくれたり、玩具を手渡してくれたり新しいお友達にもたくさんの刺激をもらっている毎日です。バギーに乗ってゆらゆら散歩をすると気持ちよさそうな表情を浮かべているお友だちも。子どもたちは思い思いにお外の空気を楽しんでいるようです。



～せんせいだっこ！！～

お母さんやお父さん以外の大人との生活に不安がいっぱいだった子どもたちですが、先生に毎日抱っこしてもらって少しずつですが気持ちが落ち着いてきました。一緒にご飯やミルクを飲んだり生活と共にすることはもちろん、遊びの中でも抱っこをしながら触れ合い遊びや園庭のお散歩をしたりと、私たち保育者は「大丈夫な人」と感じてくれるようになりました。また「〇〇ちゃん」「〇〇くん」とたくさん話し掛けてもらおうと泣いていたお友達も「ん？なに？」というように笑顔を見せてくれることも。これからも子ども達との触れ合いを大切に、みんなにとって安心でき、かつ心地の良い居場所となってもらえたらと思います。



“担任の思い”

今年はどんな子どもたちが入園されるかな？と心待ちにしていた4月もあっという間に終わりそうです。子どもたちにとっての初めての保育園生活は毎日が発見の連続です。こんなもの見つけた！これなんだろう？そういった小さな興味や関心をたくさん見つけていってほしいです。これから一人ひとりがどんな物に興味をもっていくのか、またどんな表情を見せてくれるかとても楽しみです。

高田 奈沙・立田 瑛怜菜・植木 雅

～ふたばぐみ～

ねらい：「保育園生活に慣れ楽しく過ごす・水や砂の感触に触れる」

う た：「さんぽ」「げんこつ山のたぬきさん」 わらべうた：「いちり・オスワリヤス」

新しいお友達が増え、新生活が始まってから一か月が経ちました。新入園児もにこにここと笑って過ごす時間が増えたり、進級した子ども達は新たにいろんなことに挑戦しようとする姿が見られます。知っている先生がそばにいて安心して過ごしてくれていることを嬉しく思います。

～ままごと～



お部屋ではままごとが大人気。お皿にチェーンリングや豆を入れてご飯を作ってお友達や先生、ぬいぐるみにも「あーん」と食べさせてあげています。「もぐもぐ、おいしーい」というとみんな嬉しそうに笑って何度も食べさせてくれます。

また、ご飯を食べるだけでなく赤ちゃんを優しく抱っこしてわらべ歌を歌ってあやしてあげようとするお姉さんの一面も多く見られます。めば

えの頃はお世話をしてもらった子ども達がふたば組に進級し、小さい子のお世話をしあげようとする様子が見られ成長を感じます。



～どろんこ～

砂場や園庭にある大きな土山で砂の感触を全身で感じています。砂場ではカップに砂を入れてままごと

をしたり、犬にご飯を作ってあげたりして砂に触れています。土山では滑り台のように滑ったりと身体全身で砂の感触を感じています。

新入園児さんたちも始めは恐る恐る砂に触っていましたが、今では自分から触って遊ぶようになりました。これから、砂だけでなく水や草花など色んなものに触れていきたいと思います。



～ご飯美味しいね～

新入園児さんも園でご飯を食べる様になりました。初めての日は少し不安げな表情をしていましたが、お友達が上手に食べているところを見ると「ぼくももっと食べたい」と言うように身体を前のめりにしてたくさん食べてくれています。スプーンを使って上手く食べられる子もいれば、手づ

かみでもりもり食べてくれる子、先生に食べさせてもらう子など様々ですがみんなが「おいしい」と思えるような食事の時間になって欲しいと思います。

“担任の思い”

4月は進級した子も新しく入園した子も慣れないことばかりで不安な気持ちになることもあったことと思います。5月に入り、いろんなことにチャレンジしてみようとする姿が増えたりお友達と一緒に遊ぶことが「たのしい」と感じるようになってきたりたくさんの成長があると思います。子ども達と一緒に遊んで、笑って気持ちを共感していきたいと思っています。子ども達一人ひとりにより添い気持ちに共感していきながら毎日関わってきたいです。

谷角 早紀・林 千紗・小坂橋 円香

ねらい：「友達と一緒に遊ぶことを楽しむ」

う た：「こいのぼり・ことりのうた・おつかいありさん」

新しい先生やお部屋での生活にも少しずつ慣れてきている様子のつぼみさん。ふたばさんの時とは違い、2階のお部屋になったため毎日階段の上り下りを頑張っています。朝には、「先生おはよー！」と元気に挨拶をして笑顔で駆け寄って来てくれる子どもたち。お部屋では、パズルなどの少し難しいおもちゃにも興味をもって「これどこかな？」と友達同士で考えてみたり、園庭に出ると友達と一緒にこいのぼりを眺め「届くかな？」と手を伸ばし、「こいのぼり」の歌を歌うことも楽しんでいます。

～春みつけた～

つぼみ組になり、幼児さんと一緒に始めてのお散歩で東三公園に行きました。保育者に見守られながらだいちゃんと上手に手を繋いで最後まで一生懸命自分で歩くことが出来ました。公園では、保育園から持ってきた縄を使って友達と電車ごっこをしたり、かけっこをするなどクラスのお友達だけでなく普段関わりの少ない幼児さんとも関わる事が出来て楽しんでいました。また、公園にはいろんな植物がいっぱい。桜を見つけると花びらを上から散らしたり、友達と一緒に公園をお散歩するとシロツメクサや黄色い花を手に取り、「みてみて、こんなの見つけたの！」、「あっちにあったよ」と保育者や友達に見せる姿が見られました。かえで保育園の園庭でもちょうちょを見つけると友達と一緒に「ちょうちょさんまって～」と追いかけたり、赤色のチューリップにじょうろで水をあげると「あ、黄色もあるよ」といろんな色のチューリップが咲いていることに気付いて、植物に水やりをすることが日課になっています。また、幼児さんがダンゴムシを探していたことがきっかけで「どこにいるのかな？」と探したり観察したりダンゴムシに興味津々です。いろんな発見をし、たくさん走り回ったり春の園庭を子どもたちと一緒に思いっきり楽しみたいと思います。

～ピカピカの体操服～

4月からみんなが楽しみにしていた体操が始まりました。毎週木曜日には体操服を着ることが嬉しい様で、「今日は体操だね！」と張り切っています。体操の先生



の名前を聞くと「まつおかせんせい」と名前もすぐに覚えました。話を聞くとときには座って先生の方を向き、上手に話を聞いています。サーキットが始まると鉄棒にぶら下がったり跳び箱をジャンプしたり元気いっぱい走り回って身体を動かすことを楽しんでいます。これからますます体力がついてきますので楽しみにして下さい。



“担任の思い”

友達同士の関わりが増え、時には衝突してしまうこともあります。思いを伝えようとする中で、上手く言葉にできないことや友達の気持ちを理解することが難しいこともあります。その際は、保育者が子どもの気持ちを代弁し、一人ひとりの気持ちに寄り添い友達との関わりを大切に見守っていきたいと思います。また、生活面でも自分で出来ることは見守りながらも、できないときにはそっと手を差し伸べて精一杯子どもたちの成長をサポートしていきたいと思います。

日笠 加菜・星加由美子・山本あかね

～いぶきぐみ～

ねらい：「自分のしてみたいことに挑戦してみる」

う た：「こいのぼり」「ドレミのうた」

いぶき組に進級し、幼児の広い部屋でお兄さんお姉さんと過ごす日々を、楽しみにしながらスタートしました。だいち組のペアも覚え、時に「お兄ちゃんどこ行った？」と探す声も聞こえてきます。食事の配膳を手伝ってもらったり、おやつは隣に座り一緒に食べたり、いつも傍にいてやさしく接してくれるだいち組さんです。



〈春の出会い〉

ビオトープにいくとおたまじゃくしを発見。子ども達は、捕まえてみたりじっと見ていたり・・・保育者が園庭に生き物の図鑑を持って来て、園にいるおたまじゃくしを子ども達と調べてみる事にしました。おたまじゃくしからカエルになる事は子ども達もわかっていたので「どのカエルになるのかな？」と調べていくと『日本ヒキガエル』とわかり、「保育園にいるカエルと一緒にだ」と発見しました。

果物や野菜の図鑑も持って来て「トマト好き」「先生はこれがいいな」と言いながら見ていくと、豆類が出てきて「枝豆やそら豆ってどんなのかな？」と調べてみました。その後、枝豆の苗をみんなで植えた時に「まだ枝豆ないね」と子ども達が気づき、「7月かな。みんなのプールが始まる頃出来るかな」と話をするとう「えーやったー楽しみ」と言ういぶき組の子ども達でした。毎日「水あげてくれたかな？」と言うと「あげたよ！」「あ、まだだった」と水をあげる姿もみられました。みんなで育てて、愛情たっぷりにしていきたいと思っています。

『そらまめくんのベット』の絵本を見た後に、そら豆の皮むきをしました。その時に発見！皮の中がふかふかで気持ちよかった事に気づき「そら豆君のベットと一緒にだ！」「ふかふかだね。気持ちいいね。」と言っていました。豆との出会いは始まったばかりなので、これからも調べたり実際に触れたりしていきたいと思います。おたまじゃくしも観察を続け、カエルになる日を楽しみにしたいです。



～ひかりぐみ～

ねらい：「相手の目を見て話す、聞く」

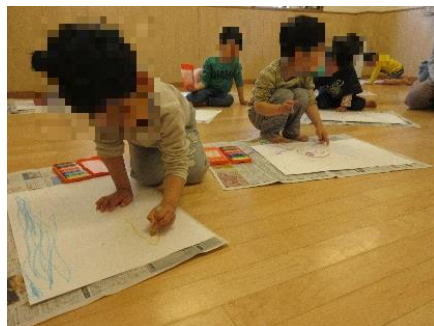
う た：「こいのぼり」「ドロップスのうた」

ひかり組になってあっという間に1か月が経ちました。新しい担任に不安に思う気持ちもあったと思いますが、今では名前もフルネーム覚えていて、遊びの時も何か発見した時などに、すぐ話しかけてくれることが増えました。これから日々遊んだり、話したりする中で楽しいこと、悲しいこと、悔しいこと、嬉しいことをみんなで経験する事が出来るよう関係を築いていきたいです。

“なにを描こうかな”

先日ひかり組になって初めての太田先生の絵画遊び。

「好きな絵を描こう」をテーマに画用紙にクレパスで描きました。新しい自分用のクレパスを一人ひとり名前を呼び渡すと、嬉しそうに手に取っていました。クレパスを受け取ると、次は画用紙とにらめっこ。「何を描こうかな」を悩んでいる様子でした。



描くものが決まると、夢中になって絵を描いていました。いぶき組の頃の思い出からなのか、かめや虹を描く子ども達がたくさんいました。中にはしっかりストーリーがある子どもがいて驚きました。子ども達の自由な発想が面白く、もっとたくさん描いて欲しい、と思いました。いぶき組の頃のかめのように、ひかり組では何が起こるのか、この1年間がどんな1年になるのか、今からすごく楽しみです。

松岡 桃花

ねらい：「挑戦したいことを、友達と共有する」

う た：「にじ」「せいくらべ」「ドロップスのうた」

だいち組としての新しい生活が始まり、楽しいことが盛りだくさんで「今日は何する？」とキラキラした目で問いかけてきます。スタートしたばかりは張り切りすぎていた子ども達も、少しずつ気持ちが落ち着き、後半に入っていぶき組のペアのお世話に奮闘したり上手い出来ないことに悩みながらも、話合ったり、工夫しながら頑張っています。日々過ごす中で、様々な発見や不思議があり、やってみたいことも多く出てきました。今、だいちぐみのやってみたいことを一つ一つ順番に挑戦しているところなのですが、これからどのように進んでいくのか楽しみです。



“高いところにのぼってみたい”

だいち組になってやってみたいことを聞いた時に出てきた意見の一つで、なかでも一番意見が多かった場所がスカイツリーでした。ひかり組の頃に積木で作ったスカイツリーを思い出しながら、スカイツリーづくりが始まりました。

「ひかり組の頃はできなかったけど、今度はてっぺんまで作ってみたいね。」「昼と夜、二つ作ろうよ。」と子ども達同士で話し合う姿もみられました。作っていくうちに、東京タワーもできあがり、次は何を作ろうかと相談が始まったため、今住んでいる場所に近いところに高い建物がないかと日本地図の絵本を出すと、兵庫県や大阪府のページをめくっていき、通天閣やポートタワーがあることにも気が付きました。そのなかで“姫路城”にも興味が湧きました。「これ何だろう?」「お城?」と相談が始まり、姫路城づくりへと繋がっていきました。

タワーよりも大きなものをみんなで作ることが初めてで、最初はどのように悩んでいる様子も見られましたが、次第に役割分担が始まり、まっすぐ積んでいく人、積み木を集めて渡す人、忍者やお殿様が喜んでくれるように手裏剣や剣を作る人、など子ども同士で話し合いながら作業を進めていきます。崩れそうになると積み方を工夫したりなど一人では難しくても友達と一緒に頑張る姿が多く見られました。

またお城を作っていく中で、疑問や発見もたくさん見られました。「どうして昔のひとは髪の毛がちょんまげなんだろう。」「着物ってきれいだね。」「昔のひとはどうして手裏剣や剣を作って戦っていたんだろう。」など、歴史にも興味が湧いたようでした。そこで実際に、自分でオリジナルのちょんまげを作ってかぶっていたり、図鑑や絵本で調べてみたりと、遊びも広がっていきました。

“担任の想い”

年長クラスとはいえ、生まれてから5、6年しか経っていない子どもたちにとっては日々過ごす中でも、不思議や発見がたくさんあり、それらに対していつもまっすぐな気持ちで向き合っているように感じます。大人でも考え付かない不思議や疑問もあり、「確かに。なんでなんだろうね。」と一緒に考えることもあります。そんな子どもたちのまっすぐな疑問や不思議に一つひとつ寄り添いながら、一緒に経験していきたいです。保育園だからこそ、一人一人が活躍でき、主人公になり、日々を過ごす事が出来るのだと感じます。それぞれがどんな主人公になるのか楽しみです。

林 奈津美

保護者の方からのおはなしコーナー

かえで保育園で6年間過ごした娘（姉）が小学生になり、多人数の学童の中では自分のペースがつかめずに暗い表情で4月を迎えました。上手く出れずにいる時に「保育園ではどうだったのかな?」「〇〇先生（だいちの時の先生）ならどういふかな?」と一緒に考えると、得意のけん玉や友だちとの同じ笑いのツボを見つけ、少しずつ元気になり始めています。親としてもどかしいことも多いのですが、保育園で知り得た事を軸にこれからも楽しいことを見つけて欲しいなと思っています。

いぶき組 ようこさん

4月で2歳になる娘。少し前から手で2歳（ピース）を練習していたのですが、何度やっても「豚足ポーズ」になります。誕生日当日も自信满满で豚足ポーズを披露してくれました。いつできるようになるのかな…笑

ふたば組 あゆみさん

4月よりつぼみ組に進級した娘。またひとつお姉さんになったことが嬉しいようで何かにつけて「〇〇ちゃんはお姉さんだから」と言うようになりました。保育園でも、赤ちゃんのお人形さんにミルクやご飯をあげ、寝かしつけまでしているとか！また、お友達ともたくさん関わっている姿を見ると、成長したなあと感じます。これからの成長もととても楽しみです。

つぼみ組 まちこさん

進級して、またひとつお兄さんになったと感じました。

それはお集まりで先生から聞いた話を家に帰って報告してくれるようになったことです。

「あっ、先生が大事な紙持って帰って下さいって言ってた!」とか「今日、絵描くからこの服着たらあかんかった、あ〜忘れてたな」etc…

いつの間に人の話を聞いて、理解して、伝えてくれるようになったのか驚きの発見でした。

この1年でまたどんなふうに成長するのか楽しみです。

いぶき組 ゆきさん

気付いたら何でも一人で出来る様になっている娘なので、どうしてもほったらかしてばかり。

先日、先生に「もっとたくさん甘えさせてあげて、しっかりみてあげてくださいね」と言われて、はっと気が付きました。

まだまだしっかり手をかけてあげないといけない年頃なのに…と反省です。

ひかり組 まきさん

登園時のスタンプがとちゅうでインク切れして自分だけ他の子と違っていた時（確かみんなは飛行機で自分はカメさんだった）嫌だと言って拗ねていたのを私からお友達に事情を話すと、2〜3人の子が息子の所に来て何やら話をして元気づけてくれました。さすがだいちさん、頼もしいなと思いました。心温まりました。

だいち組 ことみさん

☆お台所から☆

木々の緑が鮮やかに目に映る季節になり、新しいクラスでの生活が始まりもう1ヶ月が経とうとしています。新入園児さんもたくさんのお友達、先生にも慣れにこっと笑顔を見せてくれるようになりました。今月も旬の野菜を取り入れた食事やクッキング活動で春の季節を感じてほしいと思います。

4月の食育活動では、フキ・きぬさや・スナップエンドウのすじ取り、そら豆・えんどう豆のさや剥きなどをしました。一緒にご飯を食べていると「豆いっぱい入ってた」「赤ちゃんみたいな小さな豆もあったよ」「フキ大きかったけど、臭かったなど」実際に触れて感じた事を色々話していました。

今年度の食育活動も季節に合わせた様々な食体験を通じてお友達と一緒に考えたり、共感することで心も体も豊かに育って欲しいと思います。また、子どもたちと一緒に食事をする事で、当日の献立の食材や作り方など子どもたちからの声を大切にし心の栄養も育んでいけるようにしていきたいと思っています。

5月に予定している食育活動

- ・フキのすじ取り ・おやつ白玉団子を丸める ・柏餅作り
- ・じゃがバター作り ・そら豆、えんどう豆に触れる ・ピーラーで野菜の皮むきなどを予定しています。

5月の献立 旬の食材

そら豆	新じゃが	新玉ねぎ	しろ菜
えんどう豆	たけのこ	フキ	甘夏

今年度はかえで保育園のおすすめレシピを紹介していきたいと思います♪

<ひじきなっとう>

【材料】

- ・ひじき 3g
- ・なっとう 1パック
- ☆みりん 大さじ1
- ☆濃口醤油 大さじ1

【作り方】

- ①ひじきを水で戻し、水気を切った後、☆を入れてさっと炒める。
- ②①になっとうを入れてかき混ぜればできあがり。

<じゃこトースト>

【材料】

- ・食パン 1枚
- ☆青のり 適量
- ☆しらす干し 大さじ1
- ☆マヨネーズ 大さじ1

【作り方】

- ①☆を混ぜ合わせる。
- ②①を食パンに塗りトースターで3分ほど焼けばできあがり。



フキのすじ取り



スナップエンドウのすじ取り



そら豆のさや剥き



- ・5月7日（火）より常磐大学実習生3名を受けいれます。
- ・5月25日（土）2019年度保護者会です。今年度の保育の内容や今後の取り組みをお話ししますので繰り合わせご参加ください。その後講師の先生をお招きし、親子で遊ぼうと企画しています。お楽しみに！！
- ・5月28日（火）幼児は子どもたちでバス遠足に行きます。わくわくドキドキで出かけます。詳細は後日お知らせします。

こんなことしたよ♪

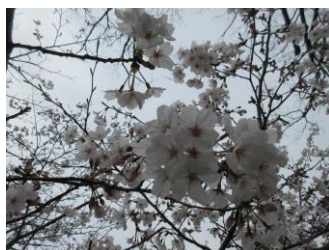
4月1日は入園式・進級式を行いました。
めばえ組9人、ふたば組6人のあわせて15人の新しいお友達がかえて保育園の仲間に加わりました。

ふたば組～だいち組の子ども達も新しいクラスや大きくなったことをお友達や先生と一緒に喜びあいました。



いぶき・ひかり・だいち組で夙川公園までお花見に行きました。お天気も良く、桜も満開で素晴らしいお花見日和となりました。

これからますます暖かくなっていきますので、積極的にお散歩へ出かけていきたいと思えます。



☆お願い☆

- ・これからますます気温が上がってきます。
お子様のロッカーの中の衣服の入れ替えと補充をしてください。シャツは類は化繊でなく、綿のものをご用意下さい。
パンツが不足の場合は購入となります。1枚250円
- ・入退館カードは保護者の方で行って下さい。
- ・帽子、靴は週末に洗ってください。



《5月の予定》

- 10日（金）だいち園外保育（姫路城）
＊詳しくはPOPでお知らせします
- 15日（水）こどもの日のつどい
- 22日（水）月例健診
- 24日（金）園内害虫駆除
- 25日（土）保護者会・
かえてカフェ（フラダンス）
- 27日（月）誕生会
- 28日（火）幼児バス遠足（幼児お弁当日）

- 17・29日（金・水） 絵画
- 9・16・23・30日 体操

《クラス懇談会のお知らせ》

- 5月16日（木） だいち
- 6月6日（木） ひかり
- 10日（月） いぶき
- ＊詳しくはPOPでお知らせします

- 5月22日（水） 学校薬剤師による水質・
厨房の検査

- 5月30日 学生の就職バスツアーで訪問されます

《6月の予定》

- 18日（火）歯科健診 10:00～
- 25日（火）眼科健診 14:30～
- 6・7日（木・金）
幼児クラス尿検査
＊詳しくはお手紙でお知らせします
- 29・30日（土・日）同園会
＊卒園児にははがきでご案内します